

第21回日食優秀食品機械・資材・素材賞

日本食糧新聞

日本食糧新聞社

東京都中央区八丁堀2-14-4
ヤブ原ビル(〒104-0032)

news.nissyoku.co.jp

編集・広告部 ☎03(3537)1303

購読 ☎03(3537)1311

【支社局】北海道 ☎011(866)0721/

東北 ☎022(225)2721/北関東 ☎03

(3537)1303/新潟 ☎025(240)8810

/長野 ☎026(228)5520/中部・静岡

☎052(571)7318/関西 ☎06(6314)

4181/中国 ☎082(223)2535/九州

☎092(291)1790

購読料 半年30,882円

(税別・前金)

©日本食糧新聞社2018年

3部門11製品決まる

日本食糧新聞社制定

同賞は1998年に
日本食糧新聞の創刊55
周年を記念して、優秀
な食品機械・ロボット

や機器、包装容器・資
材、各種素材などを表
彰する目的で創設され
た。「機械」「資材」

「素材」の3部門にお
いて、技術の革新で食
品産業の発展を支えた
製品を対象とする。

日本食糧新聞社が制定する「第21回日食優秀食品機械・資材・素材賞」の選考委員
会が7月19日に行われ、今年は機械部門6、資材部門3、素材部門2の計11製品が選
ばれた。選考会には石谷孝佑委員長(日本食品包装協会理事長)を含む計10人の委員
が出席し、各部門の候補製品を厳正に審査した。授賞式典は、9月14日午後2時から
東京・新橋の第一ホテル東京で「第22回業務用加工食品ヒット賞」および「第6回地域
食品産業貢献賞」の贈呈式・祝賀パーティーと併せて開催される。

(涌井実)

受賞製品	機械部門	総合品質管理・制御システム「QuiCCA」	アンリツインフィビス
		スプリングレスサニ簡羽根®	カジワラ
		サンティウスプラス	高橋金属
		カット野菜向け異物選別装置	日立造船
		食品展示照明用LED「ディーライン」	プリンス電機
		フレックスインクスター	レオン自動機
	資材部門	ステップマット®	エクシール
		食品品質保持剤「アンチモールド®」	フロイント産業
		セルガイア®配合「抗菌キッチンクロス」	レンゴー・原田産業
	素材部門	梅ソフトのめぐみ	キティー
		ニッポンオリーブ果実エキス	日本製粉

9月14日授賞式



7月19日に開催された「第21回日食優秀食品機械・資材・素材賞」選考委員会

選考委員

▽委員長 石谷孝佑・日本食品包装協会理事
▽副委員長 水口眞一・水口技術士事務所所長
▽委員 安部俊明・明治常務執行役員生産本部長・上田要一・日本食品添加物協会専務理事・河原崎靖・日清オイログループ取締役常務執行役員生産・物流統括部長・辻亮平・キッコーマン食品執行役員商品開発本部長兼酒類調味料開発部長・原田隆・日清製粉グループ本社常務取締役R&D・品質保証本部長・村上秀徳・食品産業セクタ―理事・安居之雅・ニチレイフーズ技術戦略部長兼研究開発部長・杉田尚・日本食糧新聞社社長(敬称略)

授賞式・祝賀パーティーの会場では受賞製品が展示され、記念講演も行われる。また、受賞製品は10月23・25日にインテックス大阪(大阪市住之江区)で開催する展示会「フアベックス関西2018」と、2019年4月17・19日に東京ビックサイト(東京都江東区)で開催する展示会「フアベックス2019」の会場内特設コーナーでカタログ展示される。

「日食優秀食品機械・資材・素材賞」の概要は次の通り。
▽対象製品 ①食品関連の機械・ロボット・機器やそのソフト、包装容器などの資材・副資材、食品添加物や香料、原料、機能性素材など食品の品質向上に役立ち、業界をサポートするすべての機械・ロボット、資材、素材とそれらの活用ソフト
▽選考方法 ①各業界・関連団体の代表、学識経験者で構成する選考委員会を設け、受賞対象製品に関する資料を作成。委員による協議の上、受賞製品を決定する
▽選考基準 ①食品業界で新製品の創出に役立ち、コスト低減や製造効率化に寄与して生産性向上、業界活性化に貢献している製品
②新規性の高い商品の創出に役立っている製品
③市場の各分野でリーダー的な商品を生み出し、業界に新しい発展をもたらした製品

INDEX

東洋ライス、エコ・フアー
エバートロン、冷蔵品鮮度
関東小売流通/北関東・新潟
16日付臨時増刊「東海・北陸・

本生
しょうが
NET 950g
テオー食品(株)